

# 第 44 回 定 期 総 会

日時：2022年 6月24日（金）

14：00～16：00

場所：日本記者クラブ

東京都千代田区内幸町2-2-1

（日本プレスセンタービル内）

日本林政ジャーナリストの会

# 総 会 次 第

1、開 会

2、 会長挨拶

3、 議長選出

4、 議事

第 1 号議案 2021 年度活動報告、収支決算並びに監査報告

第 2 号議案 2022 年度活動計画及び収支予算

第 3 号議案 役員改選

第 4 号議案 その他

第 1 号議案 2021 年度活動報告、収支決算並びに監査報告

1、 第 43 回定期総会

第 43 回定期総会は、2021 年 4 月 15 日（木）16：00 からオンラインによる ZOOM 方式で開催した。杉本哲也幹事を議長に選出、2020 年度の 7 活動報告、2021 年度の収支予算案、活動計画案を原案通り決定した。

例年総会は基調講演を行っているが、前年度に続き今回もコロナウイルス感染防止の観点から中止。懇親会もなし。

5、 幹事会

1月26日(火)、2月16日(火)、3月16日(火)の計  
3回すべてオンラインで実施。

6、 会員の動向

2022年4月末の会員数：会員21人(岡智さん退会)。賛  
助会員18団体(海外林業コンサルタンツ協会が解散に伴  
い退会)

7、 収支決算及び監査報告

## 2, 研究会

定例研究会は計5回開催。7月6日のレクは白書資料の関係で対面方式。ほかはオンラインで実施。概要は次の通り。

① 3月5日(金) 14:00～。「間伐特措法について」  
諏訪造林間伐対策室長。

「2021年度林野庁関係予算」岩井林政課管理官。

② 6月16日(水) 16:00～。「第3次ウッドショックはなぜ起きたのかーその背景と行方を探る」遠藤日雄元鹿児島大教授。16人参加。

③ 7月6日(火) 16:10～。林野庁8階A会議室「2020年度森林業白書」加藤靖之林野庁企画課課長補佐(年次報告班) 11人出席。

④ 9月17日(金) 14:00～。「2022年度予算概算要求」服部浩治広報官。6人参加。

⑤ 10月28日(木) 13:30～。「森林・林業基本計画改訂について」宮脇滋林野庁企画課課長補佐(企画第一班担当)

このほか、10月8日(金) 13:30から東京・有楽町の朝日ホールで開催された「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材利用に関する法律施行記念講演会及びシンポジウム」にZOOM参加。

## 3, 共同取材・現地研究会等

新型コロナ感染防止の観点からすべて中止。

## 4, 会報(林政ジャーナル)の発行等

未発行。

## 2021年度収支決算

2021年度(1月～12月)の収支決算

(単位:円)

項目			予算額	決算額	備考	
収入	前期繰越金		3,296,415	3,296,415		
	1	会費 個人会員	当年度会費	154,000	105,000	7,000×15人
			経年度未収分	42,000	21,000	7,000×2人(延べ)
			個人会費計	196,000	126,000	7,000×1人(延べ)
	会費 団体会員	当年度会費	380,000	340,000	20,000×17団体	
		経年度未収分	40,000	0		
		団体会費計	420,000	340,000		
	会費収入合計			616,000	466,000	
	2	雑収入		80,000	31	
	当期収入合計			696,000	466,031	
合計			3,992,415	3,762,446		
支出	1	研究会費	講師謝礼	140,000	30,440	
			会場費	40,000	0	
			小計	180,000	30,440	
	2	共同取材費		80,000	0	
	3	会報発行費		150,000	0	
	4	会議費	総会費	200,000	0	
			幹事会費	20,000	0	
			小計	220,000	0	
	5	事務局費	通信費	50,000	0	
			印刷費	0	0	
			事務用品費	8,000	0	
			会長活動費	12,000	0	
			小計	70,000	0	
	6	雑費		20,000	0	
	7	予備費		10,000	0	
当期支出合計			730,000	30,440		
当期収支差額			△34,000	435,591		
次期繰越額			3,958,415	3,732,006		

### 監 査 報 告 書

「日本林政ジャーナリストの会」の2021年度の事業報告、収支決算書を監査した結果、適正に処理されたものと認めます。

2022年5月18日

日本林政ジャーナリストの会

監事 上河潔



## 2022年度収支予算(案)

2022年度(1月～12月)の収支決算

(単位:円)

項目			前年度予算	本年度予算	備考	
収入	前期繰越金		3,296,415	3,732,006		
	1	会費 個人会員	当年度会費	154,000	154,000	7,000×22 人
			経年度未収分	42,000	42,000	7,000×4 人(延べ)
			個人会費計	196,000	196,000	7,000×22 人(延べ)
	会費 団体会員	当年度会費	380,000	380,000	20,000×18 団体	
		経年度未収分	40,000	40,000	20,000×2 団体	
		団体会費計	420,000	420,000		
	会費収入合計			616,000	616,000	
	2	雑収入		80,000	80,000	
	当期収入合計			696,000	696,000	
合計			3,992,415	4,428,006		
支出	1	研究会費	講師謝礼	140,000	140,000	
			会場費	40,000	40,000	
			小計	180,000	180,000	
	2	共同取材費		80,000	100,000	
	3	会報発行費		150,000	300,000	会報デジタル化
	4	会議費	総会費	200,000	200,000	
			幹事会費	20,000	20,000	
			小計	220,000	220,000	
	5	事務局費	通信費	50,000	100,000	
			印刷費	0	30,000	
			事務用品費	8,000	10,000	
			会長活動費	12,000	12,000	
			小計	70,000	152,000	
	6	広報費		—	300,000	HP 作成・維持等
7	雑費		20,000	20,000		
8	予備費		10,000	30,000		
当期支出合計			730,000	1,302,000		
当期収支差額			34,000	△606,000		
次期繰越額			3,958,415	3,822,006		

## 2022 年度活動計画（案）及び収支予算

ロシアによるウクライナ侵攻など混迷化する国際情勢の下、エネルギー価格急上昇が足かせとなり、世界と日本の経済成長減速が懸念されている。一方、我が国の森林・林業・木材産業には強い追い風が吹く。戦後植林された森林資源が本格的な利用期を迎える中、木材の利用を促進することが地球温暖化防止や循環型社会の形成等に貢献することから、建築物一般での木材利用の促進が強く叫ばれている。この潮流の中から発案、議員立法によって成立し、2021年10月1日に施行された「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」は、政府が目標とする2050年カーボンニュートラルの実現に貢献する強力な布石として期待される。林政ジャーナリストの会は本年度、この新法律の社会経済に与える影響に焦点を当て、「木材利用拡大の可能性と方向性」を年間研究テーマとする。併せて「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用の実態を究明するためのジャーナリズム活動を展開していく方針である。

- 1、定例研究会 月1回程度開催
- 2、共同取材等 年間テーマに基づき年2回開催
- 3、会報の発行 「林政ジャーナル」を年2回発行
- 4、幹事会 月1回開催（原則として毎月第3水曜日）
- 5、組織の拡大 新会員の加入促進
- 6、ホームページの作成
- 7、林政ジャーナルのデジタル化

### 第3号議案

#### 役員改選

現行役員は次の通り。上松寛茂、滑志田隆、篠原宏、上河潔、赤堀楠雄、水口哲、米倉久邦、古川與一、海老沢秀夫、城戸檀、山本悟、松崎秀樹各氏の計12人。

### 第4号議案 その他